

VI 経済開発研修活動

(アジア経済研究所開発スクール)

理論と実務能力を兼ね備えた開発専門家の育成を目指して、平成2年10月、アジア経済研究所開発スクール（IDEAS）を開校した。開校初年度は、日本人研修生課程（スクール研修1年、修了後成績優秀者は海外派遣1年）のみであったが、開発途上国の開発行政官の養成が急務であるとの内外の要請に鑑み、平成3年度から、アジア開発途上国の開発行政官を対象とした外国人研修生課程（スクール研修6カ月）を開設した。

開発スクールの研修生受け入れ数は、平成20年3月末現在、日本人研修生は第18期まで198名、外国人研修生は第17期まで18カ国248名で、総数446名となっている。

開発スクールを修了した日本人研修生課程の1期から16期までの卒業生は、世界銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連世界食料機関（WFP）等の国際開発援助機関、およびわが国の経済協力関係機関などに就職し、活躍している。また、6カ月研修を終えた17期までの外国人研修生は、帰国後、開発スクールでの研修で習得した知識を活用し、各国政府関係機関における開発行政官等として経済、社会開発の分野で貢献している。

平成19年度は、第16期日本人研修生の海外留学の修了・就職、第17期日本人研修生の後期授業および海外派遣、第18期日本人研修生の受け入れ・前期授業、第17期外国人研修生の受け入れ・授業、CLMV短期キャパシティ・ビルディング・プログラム研修生の招聘および授業を実施した。また開発スクールで研修を修了した海外研修生を対象とするフォローアップ研修（平成7年度開始）も行った。一方国内における成果普及の観点から日本人修了生を講師とする「開発問題セミナー」（平成16年度開始）及びアイデア実践講座（平成17年度開始）を実施すると共に、「国際協力キャリアフェア2007」（平成16年度開始）に参加した。

（1）第16期日本人研修生海外留学の修了・就職

① 海外派遣の修了

第16期日本人研修生10名のうち8名は平成18年8-9月から欧米の大学院「開発論」等の修士コースに進学、引き続き在学中の4名を除く4名は所定のコースを修了し帰国した。

② 就職等

引き続き在学中の者を除き、国際協力銀行（JBIC）、海外のNGO等に就職した。

(2) 第17期日本人研修生後期授業・海外派遣

① 後期授業

平成19年4月から7月までの間に、合計114コマ（1コマ90分）の授業を行なった。

② 海外派遣

第17期生の海外派遣先は、英国へ6名（ロンドン大学など）、米国へ4名（コーネル大学など）となっている。

(3) 第18期日本人研修生の募集・授業

① 募 集

応募期間を平成19年5月1日から5月31日までとし、筆記試験を6月16日、面接試験を7月11日、12日に実施した。選考の結果、願書提出者45名の中から11名を選抜した。

② 前期授業

平成19年9月から平成20年2月末までの間に、合計229コマの授業を行なった。経済学・数学、開発論などの授業に加え、集中講義2回を含む7コース（計111コマ）の外国人研修生との合同授業を行い、試験、レポート提出などによる成績評価を行なった。

③ 研修旅行

第17期外国人研修生との合同で地方視察1回、近郊視察1回を実施した。

(4) 第17期外国人研修生の募集・授業

① 募 集

第17期外国人研修生として、下記のとおり13カ国の政府関係機関から合計21名の開発行政官・研究員を選抜した。

イ. 一般外国人研修生（13名）

バングラデシュ（人事省）、ブータン（財務省）、カンボジア（経済・財務省）、中国（商務省）、インド（財務省）、インドネシア（商業省）、ラオス（ラオス中央銀行）、ネパール（土地改革・管理省）、パキスタン（財務省）、フィリピン（農業省）、スリランカ（財務・計画省）、タイ（国家経済社会開発庁）、ウズベキスタン（対外経済関係投資貿易省）、ベトナム（財務省）

ロ. CLMV キャパシティ・ビルディング・プログラム研修生（8名）

ベトナム3名（経済経営中央研究所（2名）、世界経済政治研究所（1名））、ミャンマー2名（国家計画・経済開発省、ヤンゴン経済大学）、カンボジア2名（計画省、平和協力研究所）、ラ

オス（ラオス大学）

② 授 業

平成19年10月から平成20年3月までの6カ月間に、一般外国人研修生合計191コマ（CLMV研修生合計183コマ）の授業を行なった。このうち日本人研修生との合同授業である集中講義2回を含む7コース（計112コマ）については、レポート提出などによる成績評価を行なった。

③ 研修旅行及び国際交流活動

外国人研修生のわが国の社会や産業の理解を目的として、国内視察を4回（地方2回、近郊2回）を実施した。また、千葉県庁との共催事業として千葉県内高校における各国事情に関する講義（6校）を実施するとともに、（財）千葉県国際交流センターとの共催事業として千葉県内のボランティア家庭（21世帯）でのホームステイを行なった。

（5）CLMV短期キャパシティ・ビルディング・プログラム研修生の招聘、授業

① 招 聘

CLMV短期キャパシティ・ビルディング・プログラム研修として、12月2日から12月6日まで、4か国から開発行政官及び研究員を招聘し研修を実施した。

研修生の内訳は、カンボジア3名（カンボジア平和協力研究所、商務省、経済・財務省）、ラオス4名（ラオス国家経済研究所（1名）、産業商務省（2名）、外務省（1名））、ミャンマー4名（ヤンゴン経済大学（1名）、国家計画・経済発展省（3名））、ベトナム4名（経済経営中央研究所（1名）、商工業省（3名））

② 授 業

集中講義（データ解析等）を含み18コマの授業を行い、レポート提出などによる成績評価を行った。

③ 研修旅行

わが国の経済産業の理解を深める目的で、オートバイメーカー（浜松市）及び部品工業等の中小企業を訪問した。

（6）フォローアップ研修の実施

平成7年度から、外国人アイデアス修了生を対象とした短期研修プログラムを行っているが、平成19年度は、国際東アジア研究センター（ICSEAD）（福岡県北九州市）との共催によりフォローアップセミナーを開催した。今回は「経済発展と民間セクターの発展」のテーマにのり、インドネシア、中国、ラオス、タイ（2名）、スリランカ、インド、フィリピン、カンボジア

から9名のアイデアス修了生が参加した。山下彰一国際東アジア研究センター（ICSEAD）所長、山本一巳愛知大学教授による基調講演の後、海外参加者による各国報告、討議を行なった。スタディツアーでは、ソニー（東京都）北九州市門司港近辺視察、産学連携センター、エコタウン、北九州貿易・投資ワンストップセンター（以上北九州市）等を視察した。

また本研修の成果は、“Economic Development and the Growth of the Private Sector in Asian Countries”（英文）にとりまとめられた。

（7）海外調査の実施

本年度外国人研修生受け入れ調整及び海外研究機関との連携等に関しインドネシア、フィリピン、パキスタン、中国、インド、ネパール、タイ、スリランカ、ウズベキスタン、英国において現地調査を実施した。

（8）開発スクール研修生審議委員会の活動

第17期日本人研修生海外派遣先の審議等に加え、IDEAS事業の現況について意見交換をした。また次年度の募集要項について内容、日程等について検討した。

（9）アイデアス実践講座の開催

広く国際開発に関わっている人々を対象に、「よくわかる開発経済・社会調査」と題して、開発プロジェクトに適用可能な実践的な講義を（有料：全3コース）を研究支援部成果普及課と連携して開催した。講師とテーマは下記のとおりである。

期間：2008年2月23日（土）、24日（日）

場所：JICA 東京

コース1 テーマ：「国際開発のためのデータ分析入門」

講師：山形辰史（開発研究センター開発戦略研究グループ長、IDEAS教授）

コース2 テーマ：「開発経済学入門」

講師：野上裕生（国際交流・研修室専任調査役、IDEAS教授）

コース3 テーマ：「社会開発入門」

講師：佐藤 寛（研究支援部長、IDEAS教授）

ディスカッション

(10) アイデアス開発問題セミナーの実施

経済協力、開発援助の現場で活躍する日本人修了生を講師に迎えて実施している「第4回アイデアス開発問題セミナー」を下記のとおり実施するとともに、概要説明・募集案内を行った。

日時： 2008年3月24日（月）

場所： JICA 国際協力総合研修所

<第1部>

「国際教育協力を考える」

① 「国際教育開発の潮流」

黒田 一雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、IDEAS2期生）

② 「国際教育協力の現場から－基礎教育を中心に」

増田 知子（国際協力機構（JICA）国際協力総合研修所客員専門員、IDEAS3期生）

ディスカッション・質疑応答（モデレーター 巻島稔）

聴講者： 45名

<第2部>

開発スクールの概要説明・募集案内

司会： 巻島 稔（国際交流・研修室長、アイデアス事務局長）

第19期日本人研修生の募集要項を配布、また履修科目等日本人研修生課程について説明し、参加者からの研修内容及び進路等について参加者からの質問に答えた。

聴講者： 42名

(11) 「国際協力キャリア・フェア2007」（国際協力キャリア・フェア2007実行委員会主催）への参加

下記のとおり、アイデアス模擬講義を実施するとともに、ブース出展によるキャリア相談を実施した。

日時：2007年11月10日（土） 10：00～18：00

場所：JICA 国際協力総合研修所

① 模擬講義

「アイデアス紹介」

司会：巻島 稔（国際交流・研修室長、アイデアス事務局長）

「開発専門家になるには」

講師：山形辰史（開発研究センター開発戦略研究グループ長、IDEAS 教授）

「社会開発とは何か」

講師：坂田正三（地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長代理、IDEAS 教授）

② ブース出展

ブース訪問者 約 60 名

表VI-1 研修生受入実績

日本人研修生	受入人数	外国人研修生	受入人数
第1期 (1990/10～91/9)	13	第1期 (1991/10～92/3)	8
第2期 (1991/10～92/9)	12	第2期 (1992/10～93/3)	11
第3期 (1992/10～93/9)	11	第3期 (1993/10～94/3)	13
第4期 (1993/10～94/9)	11	第4期 (1994/10～95/3)	15
第5期 (1994/10～95/9)	11	第5期 (1995/10～96/3)	15
第6期 (1995/10～96/9)	11	第6期 (1996/10～97/3)	17
第7期 (1996/10～97/9)	11	第7期 (1997/10～98/3)	15
第8期 (1997/10～98/9)	11	第8期 (1998/10～99/3)	15
第9期 (1998/10～99/9)	11	第9期 (1999/10～2000/3)	15
第10期 (1999/10～2000/9)	11	第10期 (2000/10～2001/3)	13
第11期 (2000/9～2001/8)	11	第11期 (2001/10～2002/3)	15
第12期 (2001/9～2002/8)	9	第12期 (2002/10～2003/3)	15
第13期 (2002/9～2003/8)	10	第13期 (2003/10～2004/3)	15
第14期 (2003/9～2004/8)	11	第14期 (2004/10～2005/3)	16
第15期 (2004/9～2005/8)	12	第15期 (2005/10～2006/3)	15
第16期 (2005/9～2006/8)	10	第16期 (2006/10～2007/3)	14
第17期 (2006/9～2007/8)	11	第17期 (2007/10～2008/3)	21
第18期 (2007/9～2008/8)	11		
計	198	計	248

表VI-2 外国人研修生受入実績 (1～17期)

国	受入数	国	受入数
バングラデシュ	16	ミャンマー	17
ブータン	6	ネパール	16
カンボジア	13	パキスタン	11
中国	21	フィリピン	25
インド	12	スリランカ	12
インドネシア	19	タイ	29
ラオス	11	東ティモール	1
マレーシア	6	ウズベキスタン	3
モンゴル	14	ベトナム	16
		計	248

表VI-3 日本人研修生海外派遣先実績

第16期生		派遣数	第17期生		派遣数
英国	ロンドン大学 (LSE)	1	英国	ロンドン大学 (SOAS)	2
	ロンドン大学 (UCL)	1		ロンドン大学 (IOE)	2
	レディング大学	1		ロンドン大学 (LSE)	1
	ヨーク大学	1		ケント大学	1
	マンチェスター大学	1			
フランス	インシアード	1	米国	ウィスコンシン大学マディソン校	1
				コーネル大学	1
米国	ノースカロライナ州立大学 ハーバード大学	1 1		デューク大学	2

表VI-4 日本人研修生就職等実績

第15期生 (12名)	実績	第16期生 (10名)	実績
国際金融公社 (IFC)	1	国際協力銀行 (JBIC)	1
国連世界食料機関 (WFP)	1	特定非営利活動法人 (パレスチナ)	1
国連食料農業機関 (FAO)	1	カーターセンターアトランタ本部 (インターン)	1
国際協力機構 (JICA)	1	長野地方裁判所	1
国際協力銀行 (JBIC)	1	大学院在籍中他	6
前職復帰 (会計検査院)	1		
国連教育科学文化機関 (UNESCO/インターン)	1		
大学院在籍中他	5		

表VI-5 第17期日本人研修生課程後期講義実績 < 2007年3月～7月 >

科 目	教 授	所 属	コマ数
集中講義			10
- Participation and Social Development in Developing Countries	Sunil Kumar	Lecturer in Social Policy and Development, Department of Social Policy, The London School of Economics and Political Science	10
開発論			16
- 社会開発論 (Gender Work Shop)	佐藤 寛	開発研究センター専任調査役	5
	磯野 昌子	立教大学 非常勤講師	1
- 人間開発論	野上 裕生	開発研修室専任調査役・新領域研究センター兼務	6
- 障害と開発	森 壮也	新領域研究センター・貧困削減・社会開発研究グループ長代理	4
地域研究			10
- 中東 (イラン) (宗派制度と宗派対立) (エジプト)	岩崎 葉子	地域研究センター中東研究グループ	1
	青山 弘之	地域研究センター中東研究グループ	1
	土屋 一樹	地域研究センター中東研究グループ	1
- ラテンアメリカ	米村 明夫	開発研究センター次長	1
	星野 妙子	地域研究センター次長	1
	宇佐見 耕一	地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長	2
- アフリカ	武内 進一	地域研究センターアフリカ研究グループ長	3
経済学・数学			12
- データ分析	山形 辰史	開発研究センター開発戦略研究グループ長	12
統計学 (選択)			10
- 統計学	三尾 寿幸	開発研究センター国際経済研究グループ	10
ゼミナール (選択必修)			17
- 社会開発	佐藤 寛	開発研究センター専任調査役	17
	坂田 正三	地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長代理・開発研修室	
- 経済開発	山形 辰史	開発研究センター開発戦略研究グループ長	17
	野上 裕生	開発研修室参事・新領域研究センター兼務	
特別講義			24
- 開発途上国の環境問題	小島 道一	新領域研究センター環境・資源研究グループ	2
	寺尾 忠能	新領域研究センター環境・資源研究グループ	2
	大塚 健司	新領域研究センター環境・資源研究グループ	2
- 開発途上国の人口問題	早瀬 保子	明海大学非常勤講師	2
	高橋 秀行	家族計画国際協力財団 (JOICFP) 理事・国際協力推進部長	2
- プロジェクト評価セミナー (選択)	伊藤 成朗	開発研究センター開発戦略研究グループ	1
- Globalization and Developing Countries	John T. Thoburn	Reader Emeritus, University of East Anglia	1
- PCM 研修 (PCM 計画立案)	河原 工	アイ・シー・ネット株式会社	12
英語			15
- English Academic Writing	Paul Consalvi	日米会話学院講師	15
合計コマ数			114

表VI-6 第18期日本人研修生課程前期講義実績 <2007年9月～2008年2月>

科 目	教 授	所 属	コマ数
日本人・外国人・外国人 (CLMV) 研修生共通履修科目 (*は CLMV 研修生を除く履修科目)			111
国際貿易・投資・金融			20
- 国際貿易・投資理論と東アジア経済	木村 福成	慶應義塾大学経済学部教授	6
- 日本経済と直接投資	東野 大	日本貿易振興機構 (JETRO) 国際経済研究課課長代理	1
- 東アジアにおける地域金融協力-進捗と課題-	柏原 千英	開発研究センター開発戦略研究グループ	3
- Evolutionary Economics, Economic Geography and International Economic Integration	Miroslav N. Jovanovic	Economic Affairs Officer, Transport Division Economic Commission for Europe, United Nations	10
東アジアの産業発展			16
- 産業発展のケーススタディ	石田 正美	国際交流・研修室専任調査役	5
- 発展途上国における技術と産業に拠る経済発展に向けて	五味 紀男	立教大学大学院ビジネスクリエーターセンターシニアフェロウ	2
- 開発とインフラストラクチャー	吉田 恒昭	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	4
- インフラ・ファイナンス	塚田 俊三	アジア開発銀行 Principal Transport Specialist	4
- 中小企業の発展と途上国へのインプリケーション (台湾)	川上 桃子	新領域研究センター	1
データ分析			14
- Relevance and Proper Use of International Statistical Information in economic Analysis	山田 哲夫	国連工業開発機関 (UNIDO) 主任統計官	12
- アジアにおける人口と開発	早瀬 保子	明海大学非常勤講師	2
地域の開発経験 -日本の開発経験-			24
- 日本の経済発展:特徴と課題	竹内 常善	浙江大学経済学院客員教授	8
- 農業発展論	藤本 彰三	東京農業大学国際食料情報学部教授	10
- 産業政策論	三上 喜貴	長岡技術科学大学技術経営研究科教授	4
- 社会開発 / 貧困の克服	佐藤 寛	研究支援部長	2
開発の諸問題			20
- プロジェクト評価論	栗木レタングエツプ	城西国際大学経営情報学部教授	8
- 開発と教育	黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授	8
- 日本の環境政策 歴史・原則・手法	倉阪 秀史	千葉大学法経学部准教授	2
- アジアと世界におけるエネルギー動向	木村 繁	日本エネルギー経済研究所研究理事	1
- ジェンダーと開発	村山 真弓	地域研究センター専任調査役	1
*国際協力			12
- 援助の理念 / 援助改革の方向	秋山 孝允	日本大学国際関係部教授	6

－開発と法・ガバナンス	山田 美和	開発研究センター法・制度研究グループ	2
－日本の NGO による国際協力とアジア諸国における NGO 活動	伊藤 道雄	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授	4
特別講義			5
－産業連関分析入門	猪俣 哲史	開発研究センターマイクロ経済分析グループ長	3
－危機に立つ人間環境と食糧安全保障；飢えからの解放をめざした持続的食糧生産への道筋	田坂 興亜	アジア学院常任理事	2
日本人研修生のための履修科目			118
開発論			31
－社会開発論（概論）	佐藤 寛	研究支援部長	4
	坂田 正三	地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長代理	1
（参加型開発）			1
（Social Capital）			1
（社会開発と人権）	勝間 靖	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科准教授	1
（農村開発と住民組織化）	池野 雅文	株式会社コーエイ総合研究所研究員	1
（農村開発と生活改善）	小國 和子	日本福祉大学大学院非常勤講師	1
（生活と水）	杉田 映理	東京国際大学 国際関係学部非常勤講師	1
（開発と健康）	松山 章子	長崎大学国際連携研究戦略本部助教授	1
（教育と開発）	磯野 昌子	立教大学 非常勤講師	1
（人口・エイズ・ジェンダー）	稲岡 恵美	外務省大臣官房国際報道官室	1
（マイクロ・ファイナンス）	粟野 晴子	アイ・シー・ネット株式会社	1
（社会調査）	宇田川 拓雄	北海道教育大学函館校・社会科教育教授	1
（ファシリテーターの役割）	太田 美帆	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1
（教育開発と世界銀行の役割）	結城 貴子	株式会社グローバル・リンク・マネージメント	1
（栄養と開発）	野村 真利香	順天堂大学医学部公衆衛生学教室助教	1
－経済開発論	野上 裕生	国際交流・研修室専任調査役	12
経済学・数学			57
－マイクロ経済学	山形 辰史	開発研究センター開発戦略研究グループ長	20
－マクロ経済学	小田 尚也	地域研究センター専任調査役	10
－数学	桑森 啓	開発研究センターマイクロ経済分析グループ長代理	6
	樹神 昌弘	開発研究センター国際経済研究グループ	6
－統計学	三尾 寿幸	開発研究センター国際経済研究グループ長代理	15
英語			30
－ English Academic Writing	Paul Consalvi	日米会話学院講師	20
－ TOEFL 対策（選択）	Kregg Johnston	日米会話学院講師	10
合計コマ（*選択科目含む）			229

表VI-7 第17期外国人研修生課程講義実績 < 2007年9月～2008年3月 >

科 目	教 授	所 属	コマ数
日本人・外国人・外国人 (CLMV) 研修生共通履修科目 (*は CLMV 研修生を除く履修科目)			112
国際貿易・投資・金融			20
- 国際貿易・投資理論と東アジア経済	木村 福成	慶應義塾大学経済学部教授	6
- 日本経済と直接投資	東野 大	海外調査部国際経済研究課 課長代理	1
- 東アジアにおける地域金融協力 - 進捗と課題 -	柏原 千英	開発研究センター 開発戦略研究グループ	3
- Evolutionary Economics, Economic Geography and International Economic Integration	Miroslav N. Jovanovic	Economic Affairs Officer, Transport Division Economic Commission for Europe, United Nations	10
東アジアの産業発展			16
- 産業発展のケーススタディ	石田 正美	国際交流・研修室専任調査役	5
- 発展途上国における技術と産業に拠る経済発展に向けて	五味 紀男	立教大学大学院ビジネスクリエーターセンター シニアフェELLOW	2
- 開発とインフラストラクチャー	吉田 恒昭	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	4
- インフラ・ファイナンス	塚田 俊三	アジア開発銀行 Principal Transport Specialist	4
- 中小企業の発展と途上国へのインプリケーション (台湾)	川上 桃子	新領域研究センター	1
データ分析			14
- 経済分析のための統計指標作成、データ作成、分析手法	山田 哲夫	国連工業開発機関 (UNIDO) 主任統計官	12
- アジアにおける人口と開発	早瀬 保子	明海大学非常勤講師	2
地域の開発経験 - 日本の開発経験 -			24
- 日本の経済発展: 特徴と課題	竹内 常善	浙江大学経済学院客員教授	8
- 農業発展論	藤本 彰三	東京農業大学国際食料情報学部教授	10
- 産業政策論	三上 喜貴	長岡技術科学大学技術経営研究科教授	4
- 社会開発 / 貧困の克服	佐藤 寛	研究支援部長	2
開発の諸問題			20
- プロジェクト評価論	栗木レタンギ エツプ	城西国際大学経営情報学部教授	8
- 開発と教育	黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授	8
- 日本の環境政策 歴史・原則・手法	倉阪 秀史	千葉大学法経学部准教授	2
- アジアと世界におけるエネルギー動向	木村 繁	日本エネルギー経済研究所研究理事	1
- ジェンダーと開発	村山 真弓	地域研究センター専任調査役	1
*国際協力			12
- 援助の理念 / 援助改革の方向	秋山 孝允	日本大学国際関係部教授	6
- 開発と法・ガバナンス	山田 美和	開発研究センター法・制度研究グループ	2

－日本の NGO による国際協力とアジア諸国における NGO 活動	伊藤 道雄	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授	4
特別講義			6
－産業連関分析入門	猪俣 哲史	開発研究センターマイクロ経済分析グループ長	3
－危機に立つ人間環境と食糧安全保障；飢えからの解放をめざした持続的食糧生産への道筋	田坂 興亜	アジア学院常任理事	2
－ Geographical Simulation Model for ERIA Infrastructure Project (選択)	熊谷 聡	新領域研究センター 経済統合研究グループ	1
外国人研修生履修科目			79
地域の開発経験 －アジアの開発経験－			26
－東アジアの開発経験	小島 麗逸	大東文化大学名誉教授	10
－東南アジアの開発経験	吉原 久仁夫	北九州市立大学国際環境工学部教授	10
－南アジアの開発経験	山口 博一	前文教大学教授	6
特別講義			8
－日本の対外技術協力と JICA の役割	多田 知幸	国際協力機構 (JICA)	1
－国際協力銀行の概要および円借款業務	加藤 健	国際協力銀行 (JBIC) 開発業務部企画課調査役	1
－戦後日本の経済と政治	大内 穂	前日本福祉大学大学院国際社会開発研究科教授	4
－日本の経営	宮島 英昭	早稲田大学商学大学院教授	2
その他			45
－開発経済学	山本 一巳	愛知大学現代中国学部教授	10
－日本語	日本語講師	海外職業訓練協会 (OVTA)	35
合計コマ (* 選択科目含む)			191

表VI-8 第17期 CLMV 外国人研修生課程講義実績 < 2007年9月～2008年3月 >

科 目	教 授	所 属	コマ数
日本人・外国人・外国人 (CLMV) 研修生共通履修科目			100
国際貿易・投資・金融			20
- 国際貿易・投資理論と東アジア経済	木村 福成	慶應義塾大学経済学部教授	6
- 日本経済と直接投資	東野 大	海外調査部国際経済研究課課長代理	1
- 東アジアにおける地域金融協力-進捗と課題-	柏原 千英	開発研究センター開発戦略研究グループ	3
- Evolutionary Economics, Economic Geography and International Economic Integration	Miroslav N. Jovanovic	Economic Affairs Officer, Transport Division Economic Commission for Europe, United Nations	10
東アジアの産業発展			16
- 産業発展のケーススタディ	石田 正美	国際交流・研修室専任調査役	5
- 発展途上国における技術と産業に拠る経済発展に向けて	五味 紀男	立教大学大学院ビジネスクリエーターセンターシニアフェELLOW	2
- 開発とインフラストラクチャー	吉田 恒昭	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	4
- インフラ・ファイナンス	塚田 俊三	アジア開発銀行 Principal Transport Specialist	4
- 中小企業の発展と途上国へのインプリケーション (台湾)	川上 桃子	新領域研究センター	1
データ分析			14
- 経済分析のための統計指標作成、データ作成、分析手法	山田 哲夫	国連工業開発機関 (UNIDO) 主任統計官	12
- アジアにおける人口と開発	早瀬 保子	明海大学非常勤講師	2
地域の開発経験 - 日本の開発経験 -			24
- 日本の経済発展: 特徴と課題	竹内 常善	浙江大学経済学院客員教授	8
- 農業発展論	藤本 彰三	東京農業大学国際食料情報学部教授	10
- 産業政策論	三上 喜貴	長岡技術科学大学技術経営研究科教授	4
- 社会開発 / 貧困の克服	佐藤 寛	研究支援部長	2
開発の諸問題			20
- プロジェクト評価論	栗木 レタング エップ	城西国際大学経営情報学部教授	8
- 開発と教育	黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授	8
- 日本の環境政策 歴史・原則・手法	倉阪 秀史	千葉大学法経学部准教授	2
- アジアと世界におけるエネルギー動向	木村 繁	日本エネルギー経済研究所研究理事	1
- ジェンダーと開発	村山 真弓	地域研究センター専任調査役	1
特別講義			6
- 産業連関分析入門	猪俣 哲史	開発研究センターマイクロ経済分析グループ長	3
- 危機に立つ人間環境と食糧安全保障; 飢えからの解放をめざした持続的食糧生産への道筋	田坂 興亜	アジア学院常任理事	2

－ Geographical Simulation Model for ERIA Infrastructure Project	熊谷 聡	新領域研究センター 経済統合研究グループ	1
外国人研修生との合同履修科目			59
地域の開発経験 －アジアの開発経験－			10
－東南アジアの開発経験	吉原 久仁夫	北九州市立大学国際環境工学部教授	10
特別講義			8
－日本の対外技術協力と JICA の役割（選択）	多田 知幸	国際協力機構（JICA）	1
－国際協力銀行の概要および円借款業務（選択）	加藤 健	国際協力銀行（JBIC）開発業務部企画課 調査役	1
－戦後日本の経済と政治	大内 穂	前日本福祉大学大学院国際社会開発研究科教授	4
－日本の経営	宮島 英昭	早稲田大学商学大学院教授	2
その他			41
－開発経済学（選択）	山本 一巳	愛知大学現代中国学部教授	6
－日本語	日本語講師	海外職業訓練協会（OVTA）	35
外国人（CLMV）研修生のための履修科目			24
東アジアの地域統合と地域協力			11
－ FTAs in East Asia – Trends, Issues and Implications for CLMV countries	石川 幸一	亜細亜大学アジア研究所教授	6
－クロスボーダー交通インフラ	勝田 穂積	国際協力機構（JICA）社会開発部シニアアドバイザー	3
－東アジアの経済開発と産業集積	朽木 昭文	理事	1
－東アジア地域統合へのロードマップ	平塚大祐	開発研究センター長	1
移行経済			10
－ CLMV 諸国及び中国における市場経済移行の進展と課題	小山 昌久	立命館大学国際関係学部国際関係学科教授	8
－市場経済化の進展と課題：東欧の事例	吉井 昌彦	神戸大学大学院経済学研究科教授	2
特別講義			3
－中国投資	射手矢 好雄	森・濱田松本法律事務所弁護士	1
－ Strategic Requirements for Chinese Business	西村 英俊	参与	2
合計コマ（*選択科目含む）			183

表VI-9 国内研修旅行

訪問先		日程
栃木県鹿沼市	鹿沼市役所、鹿沼市公設地方卸売市場、鹿沼市農業公社、上都賀農業協同組合、園芸農家（いちご）酪農家	2008/1/31 - 2/1
京都府、奈良県、広島県	西陣織会館、京セラファインセラミック館、奈良県商工観光館、松田ミュージアム、広島市環境局中工場、広島平和記念資料館	2008/2/27 - 3/1

表VI-10 近郊訪問

訪問先	訪問日
東京証券取引所、大田区産業プラザ、テクノウイング、協和ゴム工業所、大徳産業	2007/10/10
ヤマサ醤油株式会社工場、銚子市場第三卸売市場、波崎ウインドファーム	2007/11/21

表VI-11 外国人研修生による国際交流

1. 千葉県内高校での訪問授業等（千葉県庁共催）

訪問先	訪問日
松戸国際高校	2007/11/22
市川工業高校	2007/11/20
船橋旭高校	2007/11/22
柏井高校	2008/1/9
千葉商業高校	2008/1/17
習志野高校	2008/2/14

2. ホームステイ（千葉県国際交流センター共催）

訪問先	訪問日
千葉県内ホストファミリー（13世帯）	2008/2/9 - 10
千葉県内ホストファミリー（8世帯）	2008/2/16 - 17